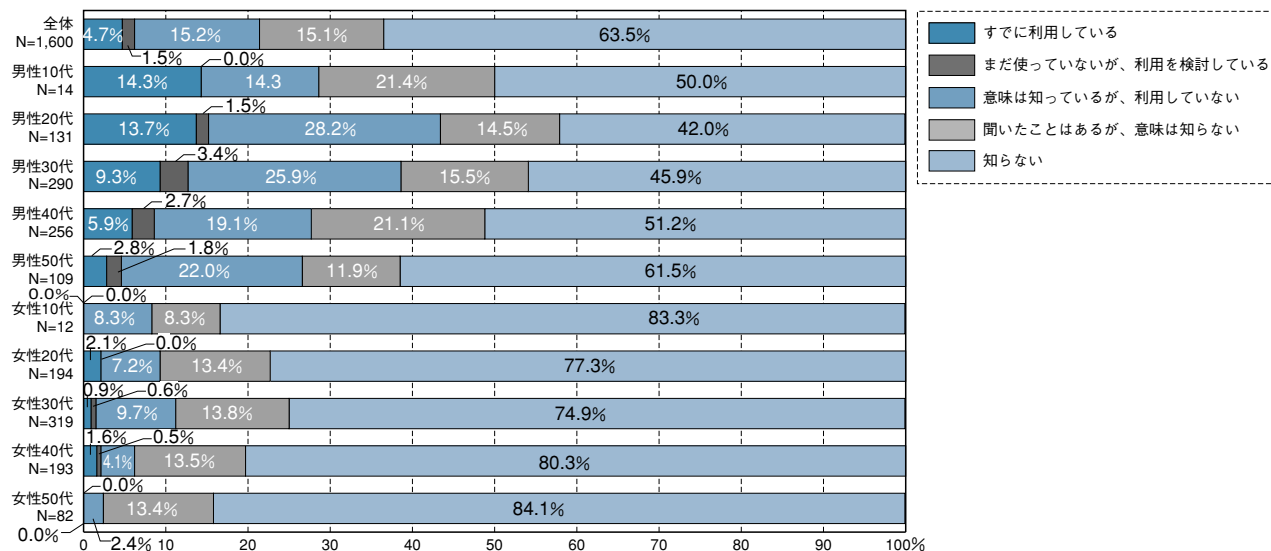


P2P

### 認知度の上がないP2Pアプリケーション

資料2-4-38 P2Pアプリケーションの認知、利用状況 [全体と年代別と性別]

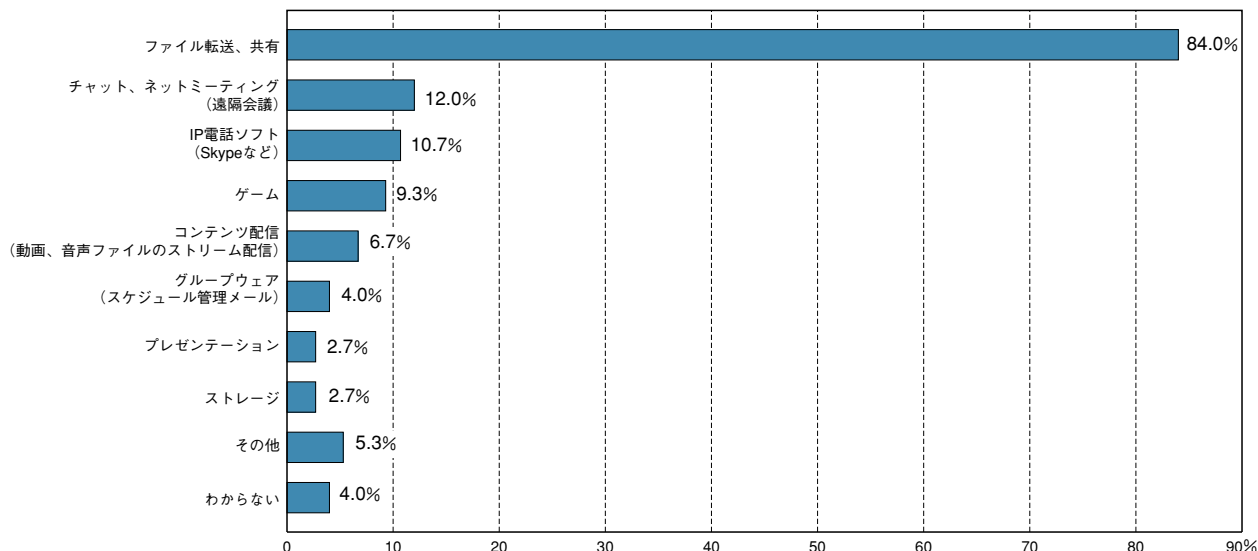


P2Pアプリケーションの意味を理解しているのは21.4%、「知らない」と回答した人が6割強と、まだまだ認知されていないのが現状である。女性は「知らない」と回答した人が77.9%と、さらに認知率が低い。また、50代の認知率も低い。

©impress,2005

### P2Pアプリケーションの利用用途はファイル転送、共有が大半

資料2-4-39 P2Pアプリケーションの用途 (複数回答) N=75



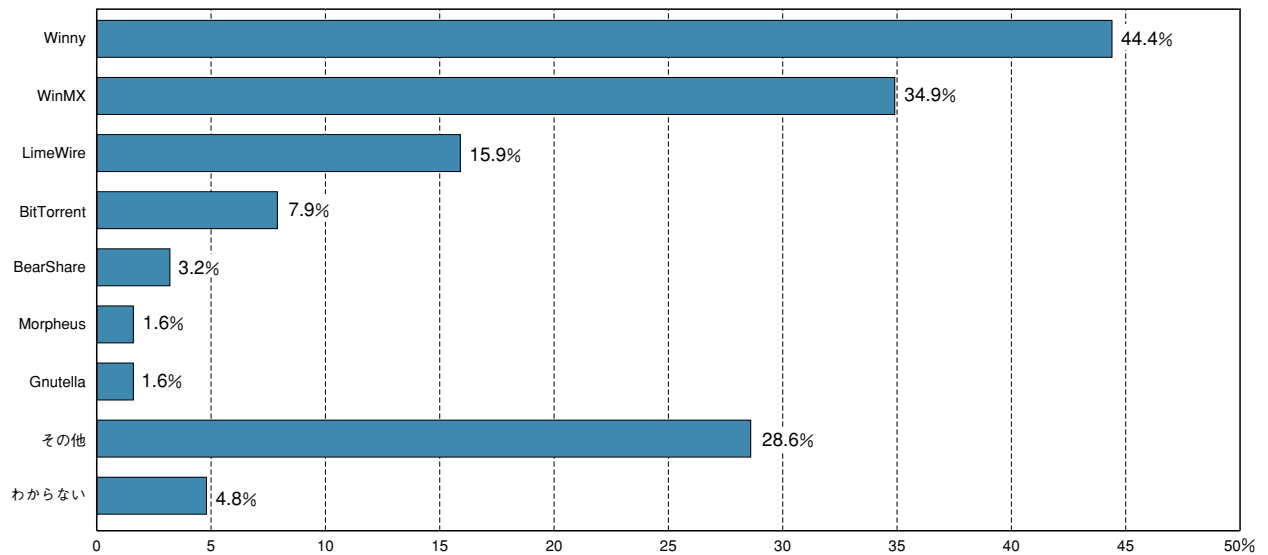
P2Pアプリケーションを利用して75サンプルに用途を聞いたところ、「ファイル転送、共有」が84.0%と最も多く、ほかの用途を大幅に上回っている。ほかでは「ゲーム」が昨年に比べ微増だが、それ以外の用途は昨を下回っている。

©impress,2005

P2P

### WinnyとWinMXが主流、3位のLimeWireの利用率も増加

資料2-4-40 利用しているファイルシェアリングソフト（複数回答） N=63

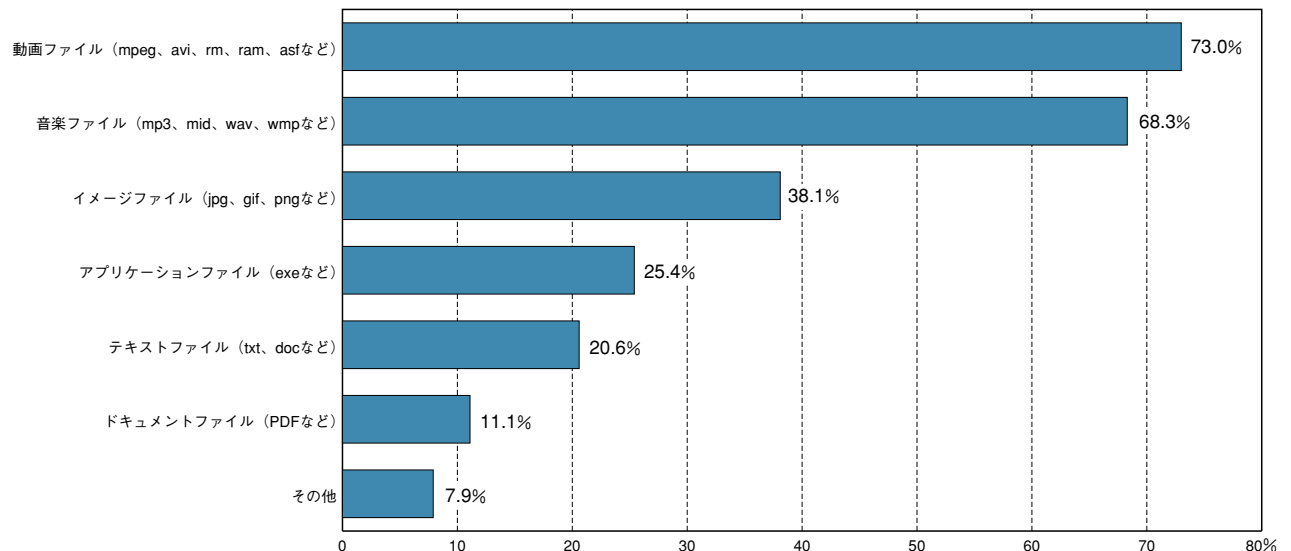


頻繁に利用するファイルシェアリングソフトは、「Winny」が44.4%で最も高く、次いで「WinMX」が34.9%となっている。「Winny」は近年急速な普及を見せ、利用率は先行して広まった「WinMX」を上回っている。また、3位の「LimeWire」は15.9%で、上位2つとは差があるが、昨年よりも利用率が増加している。

©impress,2005

### 動画/音楽ファイルの共有・転送が主用途、容易な動画閲覧環境が影響か

資料2-4-41 P2Pアプリケーションで共有・転送しているファイルの種類（複数回答） N=63



P2Pアプリケーションで共有・転送しているファイルは、「動画ファイル」と「音楽ファイル」がいずれも約7割と高く、特に「動画ファイル」は昨年より5ポイント以上増加している。MP3プレーヤーの普及やブロードバンド化の進行により、お互いが動画を容易に閲覧できる環境になったことなどが要因と考えられる。

©impress,2005



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)